



実は私、叔父と
毎晩入浴H
してました

お風呂場で

制服H♡

ニクロ水着H♡

全裸H♡



ああんっ♡

いつからでしょうか…
学校から帰ったら
共働きの親が帰ってくるまで
叔父さんと毎日入浴H♡

ぶるんっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅ

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ

はあんっ♡

んっ♡

んっ♡

私はもう…
叔父さんのおちんちんなしでは
生きていけません…

自分が おちんちん依存症なのは
わかっていますが…
どうしても止められないんです…
だって…



だってえ
気持ちよすぎるんだもんっ♡

おちんちんっ♡
おちんちんっちゅきイっ♡
女の子を気持ちよくしてくれる
おちんちん大ちゅきイっ♡

ド
ジュ
ジュ♡

ジュ
ルル♡

ジュ
ジュ♡

あぁっ♡
中でもこのおっあっ♡
おちんちんの射精の瞬間があ
あひ♡あぁっ♡

たまらなく
大ちゅきなのおおおっ♡

あぁっ♡あぁっ♡あぁっ♡

びんっ♡
びんっ♡

びんっ♡



また 叔父さんとHしてしまっただろうか？
どうしてこうなってしまったのでしょうか？
おちんちん依存症になる前には
好きな男子もいたんですよ
今では もう叔父さんのおちんちん以外
何もみえなくなっちゃいましたか？
でも… それでも私は後悔していません
だって… 私には…
おちんちんが大好きなんですから♡

そして

話は三ヶ月前へと戻る

こんにちは 葦●伊織です。
実は2週間くらい前から 親戚の叔父が 私の家に居候しているんです。
母から聞いた話では 奥さんに浮気がバレて家を追い出されてしまったらしいんです。
それで 泊まる所がないのでしばらく私の家に泊めてあげる事に…。

叔父さんとは まだ私が小さかった頃
何度か会った事がありますが
その…… とっても… Hな人でした…
私の着替えを覗きにきたり 身体を触ってきたり
入浴中に入ってきたりとか…
正直…とても 嫌いな人でした…。



え？ 何で制服のままお風呂場にいるのかって？
それは あの叔父さんのせいなんです。(ムスッ)
私が学校から帰ってきて玄間を開けたら
突然叔父さんに水をかけられたんです。

何でも 叔父さんは玄間を掃除していたらしいんです。
それで急に玄間のドアが開いたから驚いて 手元が狂ってしまったと...。
このまま部屋で着替えたら 部屋中 水浸しになってしまうので
やむなくお風呂場で着替える事に...
はーあ もうサイアク...
でも 叔父さんもわざとじゃないみたいだし...
しょうがないよね...





ぬ
う
う

いやあ、伊織ちゃん
さっさはすまなかったわえ

び
く

お
叔父さんっ！

おっとすまん
また手が滑ってしまった

きやあぁっ!
なっ 何するんですかっ!

びくっ
びくっ!

もにゅっ♡

むにゅっ♡



伊織ちゃんの携帯拝見させてもらったよ
瀬戸くんだけ？
彼のメールだけわさわざ保存メールにしておくなんて
よほど大切な男みたいたわ？
まさか 彼氏とか？

どきっ！

ちっ 違いますっ！
瀬戸君とはそんなんでやっ...
たっ たただのクラスメイトですっ！

ふん
ただのクラスメイトね...
まあ そうゆう事にしておられては汗が...

むにゅ♡

むにゅ♡

もみ♡

もみ♡



その瀬戸君には知られたくないだろう？
伊織ちゃんとなわしが大人の関係にある事を...

なっ何さうて...っ

たどえ 真っ赤な唾でも火のない所に煙は立たぬってね
そんな話聞かされたらさっさと瀬戸君
伊織ちゃんの事嫌いになっちゃうんじゃないかなあ

なまじり 今のままじゃさっさと帰るさ
瀬戸君には 何も話をさっさと
すく済むから なっ
おとなしくしてさっさと帰るさ

くく さらさら

もにゅ♡

もにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡





ぷりりんっ♡

おお♡ 随分発育したねえ♡
この美味しそうな尻尻堪らんなあ♡



むちい♡

うらやま

あっ ちょっとやだ...っ!

びんご!

ほらほら 動かさるぞ♡

はあっ はあっ
おしり おしり♡
伊織ちゃんのおしり♡

むちゅ♡♡

むちゅ♡

むちゅ♡

むちゅ♡

な何…?
何を押し付けてるの…?
すごく硬いのが私のおしりに…
あ…これって…まさか
おおち…



どびゅっ
ゆっ!

うんうんっ
おはっ!

びゅんっ

おはっ!



まっ まだ出るよあつ
二週間分のお精液いっ

びゅるるっ

びゅるっ

びゅるるっ

どきっ!

えっ! せっ 精液...っ!
うそでしょ...
やだあ...っ
おしりに かけられちゃってるっ...

どき
どき



おあ... おあ...
へくへく...
き 今日おのりだのあさひ
してあさひ
また 明日 風呂場に入るんだと
あそそう 勿論制服でお♡ さらさら

え...
そんな...
一回で終わりじゃないの...っ

びくっ
とろ
おお
びくっ

次の日 叔父さんに
言われた通り制服を着てお風呂場へ…

どき
さあ ほらほら
ぎゅっと 握って握って
あたたまも一緒にね♡

どき
いぎっ!

もいゅ

どき
私は 叔父さんに言われるがまま
叔父さんの硬くなっているおちんちんを
握りました…
は 初めて 男の人のモノに触れた…
硬くて… 熱い…
ここれが… おちんちんの感触…

どき



どきん!
やだ...
叔父さんのおちんちんから
精液出ちゃってる...っ

びしょ!

びしょびしょ

やだやだっ!

ど
びしょ!

びしょ

びしょ



うへへえ
さ 今日おちんほ
啜えてみようか？

く 啜える…っ！
そっ そんな事できません…？

どきっ！

大丈夫だって♪
叔父さんのおちんほを口に入れるだけ
簡単な事じゃないか

むっ 無理です…っ

あんまり駄々こねると…
わかってるね？

びく…っ

へへ よしよしい子だ
それじゃあ
啜えてみようか



ん...

ちゅぶらう♡

どき

わ私...お おちんちん
啜えちゃったあ...

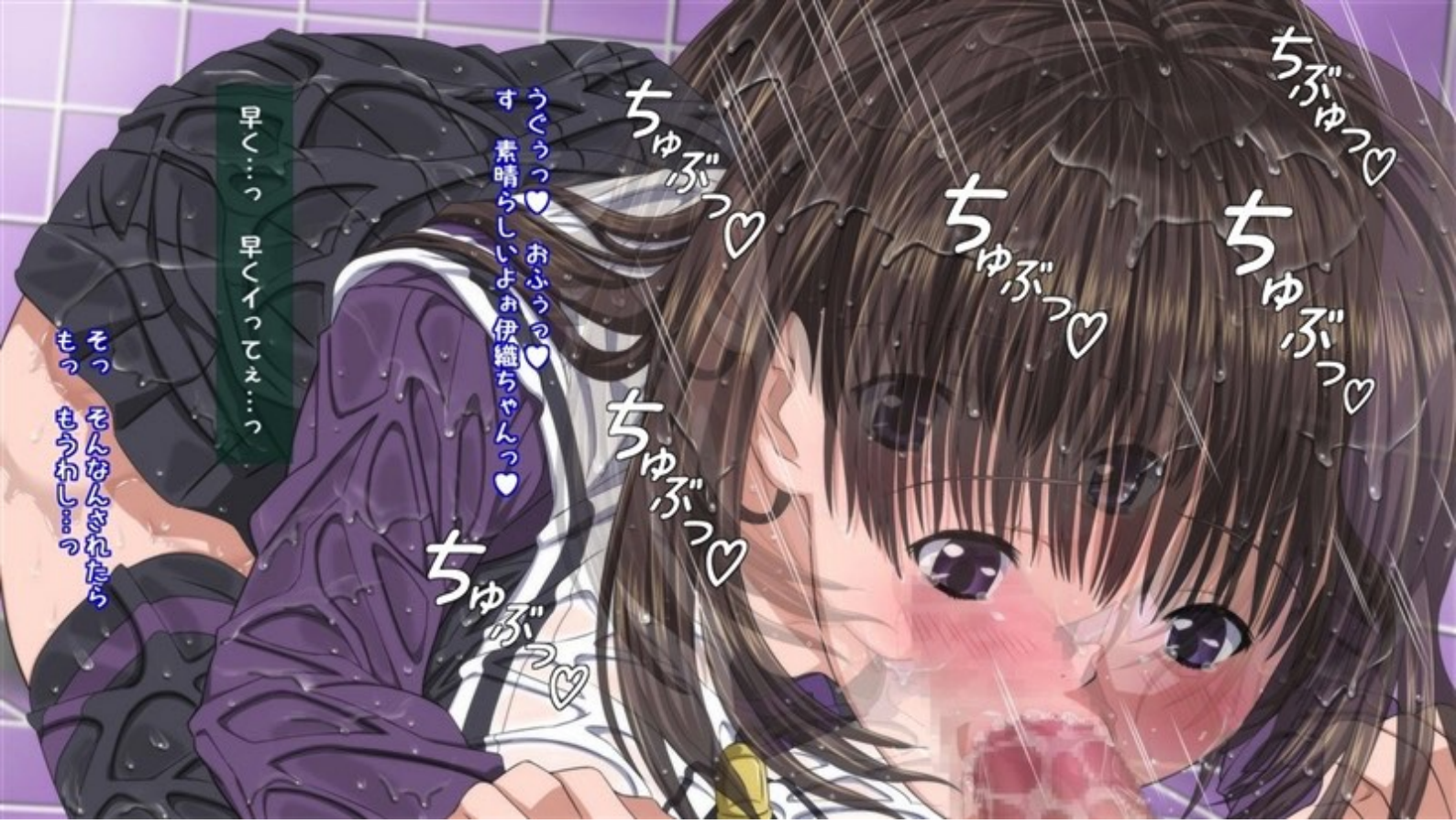
どき

ほおおおおお...♡

ここれはいいいい♡

いいよおお♡

いつ 伊織ちゃん もっと奥までっ
奥までしゃぶってっ♪



ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

うぐうっ♡ おふうる♡
す 素晴らしいよお伊織ちゃんっ♡

早く…っ 早く…っ

そっ そんなに遅れたら
もう しょうがないっ



どぶうっ!!

どぶうっ!!

びゅるっ

びゅるっ

びゅるっ

ん……っ



どき

はあ... はあ...

く口の中が精液まみれになってるううう...
え〜ん...
サイアクう...

どき

どき

でもこれで叔父さんも満足したよね...

ところが叔父さんのHな要求はこれだけでは終わりませんでした...



次の日
叔父さんは 私に胸のボタンを外し
仰向けになるよう指示しました

床には エアーベッド?
のような物が敷かれていました

何だか
とても嫌な予感がします

どき

どき

どき



おいおい伊織ちゃん
手で隠してちゃ
ポタン外させた意味ないだろ？

あっ！

叔父さんは
私の腕を掴み押さえつけました

ぽろんっ♡

ああ...

ふるんっ♡

叔父さんに...
見られちゃった...
私はシヨックで
頭が真っ白になってしまいました



叔父さんはしばらく私の胸を眺めたあと胸を寄せるよう指示しました

頭が真っ白になっている私は訳が分からず とりあえずその指示に従いました



どき
おおあ……♡
巨大マッシュマロ最高♡
みんな姪がいてくれて
叔父さんは幸せだよ♡
どき

どき
むいゅいゅいゅいゅ♡

どき

どき



動いちゃうもんねー♡

んちゅっ

むにゅっ♡

ぶちゅっ♡

どき

あっわ私のファーストキス…
叔父さんのおちんちんに
奪われちゃった…

どき



伊織ちゃんのおお
おっぱいの中であえ
うぐおおおおっ！

ドビュッ
ビュッ
ビュッ

びゅっ

ひゃあああんっ！

ビュッ



はあ... はあ...

うへへ...

伊織ちゃんも大分

ちんぽに慣れてきたみたいだね

そろそろいい頃合いだ

明日は いよいよわしと伊織ちゃんの
記念すべき日になりそうだよ

とろおお♡

はあ

はあ

はあ



叔父さんからHな事を
されるようになって今日で5日目です
何だか今日は叔父さんの目が
いつもよりギラギラしていて怖いです…

叔父さんから壁に手をつけて
おしりを突き出すよう
言われました

何をされるのでしょうか…
不安でいっぱいです…

どき

どき

どき

すり♡

すり♡

すり♡



わえ わえ伊織ちゃん
瀬戸くんとは最近どうなの？

ちんぽ♡
ちんぽ♡
ちんぽ♡
ちんぽ♡

どきっ！
え...
どきっ！どきっ！どきっ！

どき

どき

どき

私が叔父さんから
一瞬目を離したその時でした



びくん!!
ひゃあぁぁん...!!

私のあそくに激しい衝撃が走りました

ぶちゅっ♡

ぬちゅちゅ♡

びく

びくん!!

びくん!!

びくん

視線を戻すと
下着がおろされ 叔父さんのおちんちんが私のおそこに入られていました





あ... ああ...
め 抜い... 抜い...

つよい痛みと初めてを
奪われたシヨックからこれ以上言葉が
出てきません

うへへえ...♡
どうやらその反応を
処女だったみたいだね♡
これは瀬戸くんにも
悪い事したかな...
うへへへへ...

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ



やあ...っー はあ...っー
やっー やあ...っー
ー 裂けちゃあやあ...っー

んあ...っー

やあ...っー

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

びしょ

びしょ

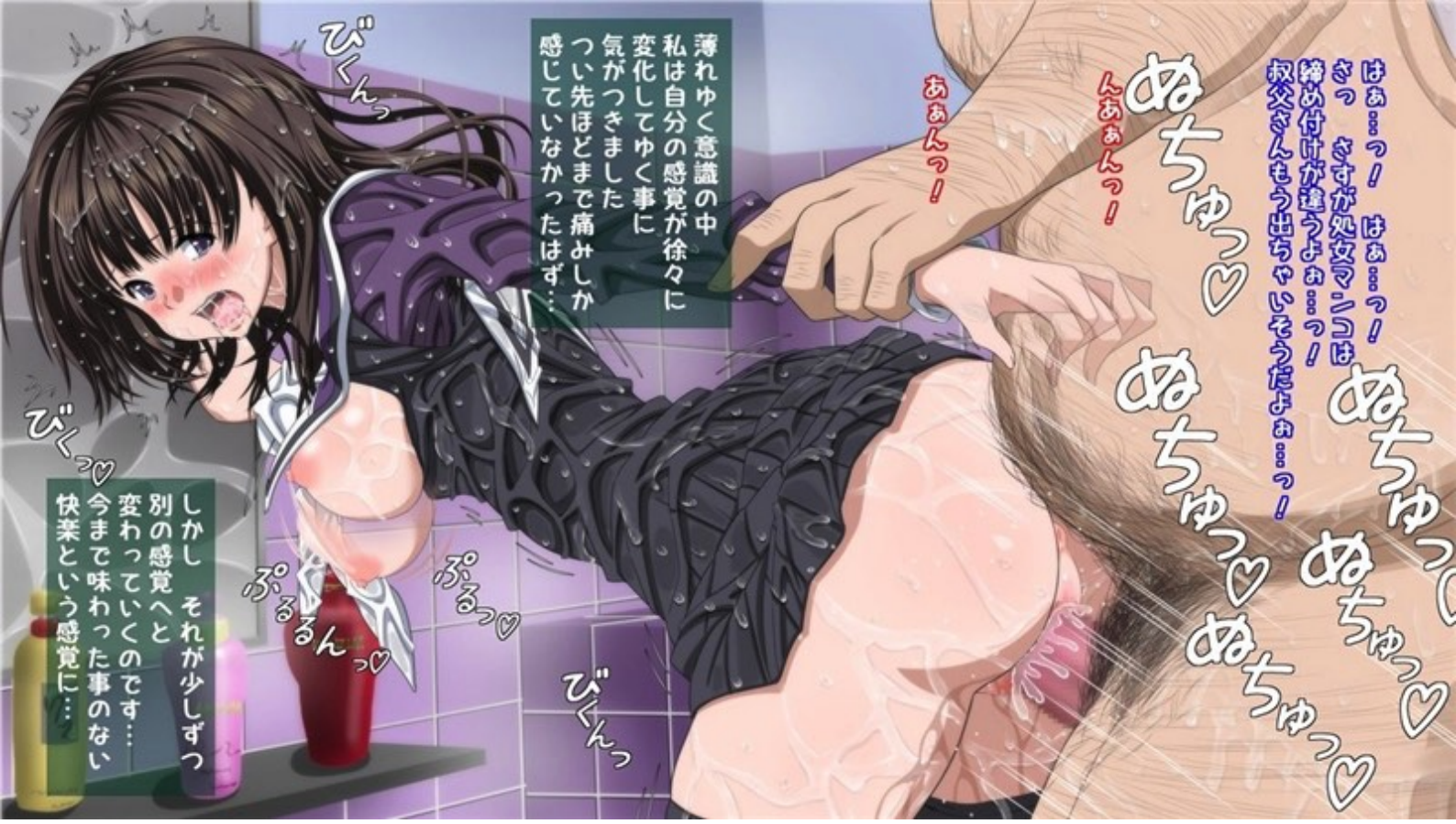
びしょ

びしょ

びしょ

だめだめ!!
動いちゃだめえっ!!
裂けちゃあやあ...っ!
裂けちゃあやあ...っ!





はあ...っ！ はあ...っ！
さっ さすが処女マンコは
締め付けが違うよあ...っ！
叔父さんもう出ちやうぞうだよあ...っ！

ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡

ああんっ！

んああんっ！

薄れゆく意識の中
私は自分の感覚が徐々に
変化してゆく事に
気がつきました
つい先ほどまで痛みしか
感じていなかったはず...

びくんっ

びくっ♡

しかしそれが少しずつ
別の感覚へと
変わっていくのです...
今まで味わった事のない
快楽という感覚に...

ぶるん♡
ぶるん♡

ぶるっ♡

びくんっ



やっへえっ
うへえっ
臆内出ししちゃったあ
伊織ちゃんめんどめんどカッ

ああ...♡

んああ...♡

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ





ややだ...♡
どうして...?
嫌な苦なのに
き気持いい...♡



どき♡

どき♡

昨日は
どうしちゃったんだろう…
私…何か変だった…

あんな無理矢理されて
気持ちいいわけないのに…

でも…
あの感覚…
あんなの…初めて…

どき♡
しりしたい…
もっとしてみたい…っ♡

どき♡

やあ 伊織ちゃん♪
おほ♡ わしがあげた水着
さっそく着てくれたんだね♡
しかもそのおねだりポーズ♡
さっそく入れて欲しい
のかなあ♡
え…その…



おっととめんきめん
女の子にそんな事聞くのは
野暮だったわえ

それじゃあ
お望み通り よしよか

ぬちゅ♡

ひやあめあんっ!

びゅん♡

びゅん♡

びゅん♡

びゅん♡



ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡

びんっ♡
ああんっ♡
ああんっ♡
こっこの感覚う♡
これこれえっ♡
ああんっ♡
さっ気持ちいいよあっ♡
びんっ♡
やああんっき 昨日より
感じちゃってるうっ♡

びんっ♡
ああんっ♡
びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡



ち頂戴…♡
私の膣内にい♡
叔父さんの精液頂戴いい…♡

叔父さんの動きが
速くなった…♡
ももう出るのね…♡

ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡
ぶちゅっ♡

びしょっ♡
びしょっ♡
んああんっ♡
んああんっ♡
びしょっ♡
びしょっ♡
びしょっ♡
びしょっ♡





うへへえっ
おらああああっ！

さやああっ！

びゅっ

どしゅっ
びゅっ

びゅるっ

びゅっ

びゅるっ
びゅるっ
びゅるっ

びゅるっ
びゅるっ



はあ...っ はあ...っ
うへへえ...
憧れの顔射してやったぜええ
伊織ちゃんのかわいい顔が
わしの精液でドロドロにまっとなW
堪らんなあ♡

びしょ♡

ああ...

ああ...

れろ♡

びしょ

びしょ♡

れろ♡

れろ♡

びしょ



もう…
叔父さんのイジワル…
膣内に欲しかったのに…



ああ…♡
気持ちよすぎるうう♡

昨日けつ内ちに出でして
もらえなかつたから
すごい感じちゃううう♡

ああっ♡

ああんっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

はあんっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

びしょ♡

びしょ♡

びしょ♡



ちゅちゅこすぎるうう…♡♡
あ♡あそこがじんじんして…
まだおちんちんの余韻が…♡
んああ…♡

あゝ出した出したあゝ
あれ伊織ちゃん
もしかして壊れちゃった？
うへへえいい表情だわえ♡

しろお♡

ほ♡

あは♡

びんっ♡

びんっ♡

びんっ♡

っ♡

びんっ♡

びんっ♡

びんっ♡

びんっ♡

っ♡

っ♡

びんっ♡

っ♡

びんっ♡

びんっ♡

うへへえ♪
嬉しいよあ

伊織ちゃんの方から誘って
くれるなんてえ
しかも こんな昼間からあ♡

今日は 日曜日ですから
それに親は旅行中なんです♡
だから今日は…その… 一回中… を♡

じき♡

れろ♡

れろ♡

れろ♡

じき♡

ぐわちゅん♡
にゅんにゅん♡

くくく… 思ったより早く早く寝たな
ちっほり エロい身体してる子は
Hにはまりやすいな♡





ああ……♡

勃った 勃ったあ♡

ああ…… 叔父さんのおちんちん…… やっぱり素敵……♡

じゅん♡

じゅん♡

じゅん♡

じゅん♡

じゅん♡

じゅん♡

うへへえ
そったら そったらっ
このちんぽはせう
伊織ちゃんのものなぞをた

きゅん♡

わ 私のこと……♡

ああ♡
嬉しい……♡

きゅん♡



どき♡

叔父さんの精液
飲ませて♡

んちゅっ♡

ちゅぶっ♡

びしょっ

びしょっ

めおめお♡
おぎんすの
フェラは最高めお♡

どき♡

どき♡



ちゅぶ♡

ちゅぶ♡

ちゅぶ♡

ちゅぶ♡

ちゅぶ♡

ちゅぶ♡

おお♡
舌がらんぽさ包んで♡

いつの間にかんをテク覚えたんだい？
勉強熱心な伊織ちゃんだから
AVでも観て研究してるのかな？



ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ちゅぶっ♡

ああんっ♡
おちんちんに口の中を
犯されてるみたい♡

おちんちんってすごい♡
女の子をHな気分にさせてくれるし
気持ちよくしてくれるんだもん♡
もう おちんちんから
抜け出せないよあ♡



ああ…♡
美味しい♡♡♡
女の子にとって精液の味は
蜜の味だよああ♡♡♡

あわわわ

びしょ♡

んんん♡♡♡

はっはっはっ♡

どぶっ♡
びしょ♡

♡ん♡
♡ん♡
♡ん♡

びしょ♡
びしょ♡



す...♡ すあ...♡

ふふ♡
叔父さん♡私持ちますね♡

叔父さんは何もしないで
いいですから
私か気持ちよく
イかせてあげますね♡

ごめ♡

ごめ♡

ごめ♡

すり♡

すり♡

すり♡

すり♡

すり♡

すり♡

びん

びん



むいゅっ♡
えいっ♡

おおおおっ♡

叔父さんのおちんちん
太ももで
挿んじやいましたぁ♡

ふふ♡ どうです？
女の子の太ももの
お味は♡

た 溜まらん…♡

ふふ 嬉しい♡

え？
叔父さんもう
イキたいんですか？
わかりました♡
じゃあイカせてあげますね♡

どき♡

むい♡

むい♡

たぶん♡

どき♡
どき♡

あー♡
あー♡

あー♡



えいっ♡

えいっ♡

めおおおおっ♡

我慢しないでいいですから♡
私の身体をオカズに
太ももの感触を味わいながら
精液出しちゃってくださる♡

え イキそう？
イキそうなんですか？
イって イってえ♡

精液いっぱい出しちゃってえ♡
イってる表情私にみせてえ♡
ふるん♡

むにっ♡

どき♡

むにっ♡

むに♡

むに♡

むにっ♡

むにっ♡

どき♡

どき♡

ふるん♡



ふんふんふんふん♡

どどど
びゅっ
びゅっ

やあああん♡

ああ♡
叔父さん私の太ももで
いっちゃったあ♡
あ♡やだ♡
おちんちんいじってたら
私まで感じてさちやったあ♡

びゅっ♡

びゅるるっ
びゅるっ
びゅっ

びゅっ♡

びゅっ♡



精液飲ませてくれた

お礼に気持ちいい事してあげますね♡

ふふ

男の人って足で

されるの好きなんですよね？♡

おおおお...♡

すり♡

すり♡

すり♡

すり♡

娘ぐらい年が離れてる女の子に

男性の大切な所を

足でイジらるのって

屈辱じゃないですか

ふふ でもそんが

ぞくぞくしちゃう

みたいですね♡

ぐっ♡

いっ♡

いっ♡

いっ♡

いっ♡



んちゅ♡

ちゅ♡

唇と唇のキスは
これが初めて…
叔父さんが私の
ファーストキスの相手…♡

私の初めて
全部叔父さんに
捧げちゃったあ♡

どき♡

どき♡

どき♡

にぎゅ♡

むに♡



ちゅう♡

どき♡
わあ♡
もうこんなに硬くなって…♡

ああ♡
早くこのがちがちに
勃起したおちんちんで
ずぼずぼされたい♡

ちゅう♡

どき♡
私のアソコを
ぐちゃぐちゃに
かき回してほしい♡

どき♡
一晩中 失神するまで
犯してほしい♡

どき♡

ちゅう♡
んちゅう♡

どき♡

っし♡
っし♡
っし♡
っし♡



あああっ♡
出た出たあ 精液いい♡
ピンピンに反り返ったおちんちんから
超濃厚な真っ白ミルク精液いい♡♡

どぴゅっ

びゅるるっ

びゅっ
びゅっ

こしゅっ♡
こしゅっ♡
こしゅっ♡
こしゅっ♡

びゅっ
びゅっ

ちゅぶ♡
ちゅぶ♡

どげ♡
どげ♡
どげ♡

どげ♡



どきん♡

どきん♡

とろお♡

どきん♡

どきん♡

あああ…♡
おちんちんのいく瞬間が
堪らない…♡♡♡

どきん♡

んちん♡
ちん♡

どきん♡

どきん♡

どきん♡

場所を私の部屋に変えて
一晩中Hする事に♡

女の子が上に乗るなんて はしたないけど
もう我慢できないんだもん♡

はぁんっ♡

ひゃんっ♡

たぶんっ♡

ぼいんっ♡

あぁんっ♡

あぁっ♡ この極太おちんちん
最高に気持ちいいっ♡

ずっつと
挿れておきたいよあぁっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡



あああああんっ♡♡

まっ 待ってっ
そんなっ 激しすぎるよおおっ♡♡

ひんっ♡

ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡

ほろんっ♡

びんっ♡

びんっ♡

ほろんっ♡

叔父さんっ
奥にっ
奥に当たっちゃってるからああっ♡♡

はあんっ♡

ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡

だめだめえっ♡
またイっっちゃやうううっ♡
イっっちゃやうよおおっ♡





はあっ♡ああんっ♡♡♡♡♡
んっ♡♡♡♡♡
イっくうっ♡♡♡♡♡

ああっ♡♡

んああああっ♡♡♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぶちゅっ♡

ぼいんっ♡
ぼいんっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

びしょっ♡

おっ 叔父さっ...っ♡
ああっ♡ とっ 止まって...っああっ♡
今イってる...っはあっ♡ からああっ♡
だめなのおあ...っ♡
ああっ♡ 死んじやうよおっ♡
死んじやううううっ♡ ああああっ♡♡♡

ぼいんっ♡



あうっ♡♡♡

はああああっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ひゃあああああんっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡

びんっ♡

びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡

どびっ
びんっ♡
びんっ♡
びんっ♡

びゅっ
びゅるっ
びゅるっ

びゅっ
びゅっ
びゅっ

がくっ♡

がくっ♡

がくっ♡

がくっ♡

びんっ♡

びんっ♡

びんっ♡

きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡

絶頂を軽く通り越した私は
身体を大きくのけぞらし
失神してしまいました♡



私が目を覚ますと
叔父さんにバックから攻められていました♡
私はどうやら15分ほど気を失っていたようです



はあん♡

ぽいん♡

おっ 叔父さん♡
もっ もう許してええっ♡

ぬちゅっ♡

ぽいん♡
ぬちゅっ♡

ぽいん♡

ぽいん♡

ぽいん♡

ぬちゅっ♡

おかしくなっちゃった♡

これ以上されたらあぁっ
おかしくなっちゃったからあぁあぁっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡



私は情けない声を鳴げて
再び絶頂を超えてしまいました♡



最後の絶頂を迎えた時
私の頭の中にいた
瀬戸くんが消えてゆくを感じました…

END